HITACHI
Inspire the Next

日立加湿器《ハイブリッド式（加熱気化式）》

取扱説明書

（保証書付）
保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています

SVF-H54D形

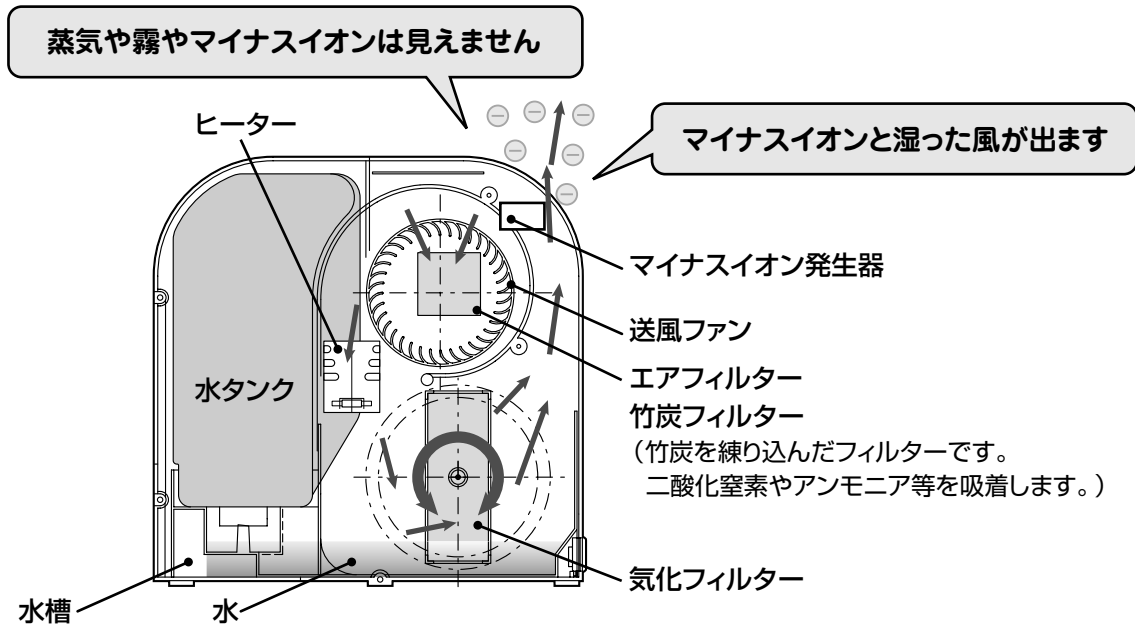
家庭用

このたびは日立加湿器をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは大切に保存してください。

もくじ　　ページ

ハイブリット式加湿器について

この商品は、気化フィルターに風を当て加湿を行う「気化式」と、風をヒーターで加熱し、温風にして気化を補助する「加熱式」を組み合わせたハイブリッド式です。
運転開始時は温風を気化フィルターに当てすばやく加湿し、設定湿度になるとヒーターをOFFにして、室温の風によって省電力で加湿し、設定湿度を保ちます。

ハイブリッド式加湿器の特性

- 水を浸透させた気化フィルターに風を当てて、湿った風を出して加湿しています。蒸気や霧などは見えません。
- 水が気化するときは空気から熱を奪いますので室温より少し低い温度の風が出ます。
- 雨の日など湿度の高いときは、洗濯物がなかなか乾かないのと同じ原理で気化フィルターに浸透した水が気化しにくくなり、加湿量が少なくなります。

ロータリー式気化フィルター

加湿運転中は気化フィルターを垂直に立てて水槽から水を吸い上げ浸透させ、風を当て加湿します。さらに、ロータリー方式では、気化フィルターをときどき回転させて効率のよい加湿を行います。

- 加湿運転を開始すると気化フィルターが回転して垂直位置で止まり、加湿をします。その後約５分に１回、気化フィルターを約180゜回転させて気化フィルターの上下を逆にして運転を続けます。このロータリー方式により、気化フィルターをまんべんなく水で濡らすので、効率のよい加湿が行えます。
- 運転を停止すると、気化フィルターを水平にして水につからないようにします。

マイナスイオン

森林の中や渓流のそばで感じる清々しい気分は空気中にたっぷり含まれるマイナスイオンのおかげといわれています。この商品はマイナスイオン発生器を搭載し、加湿しながらマイナスイオンを発生させることができます。また、加湿をしない「マイナスイオン」単独運転もできます。

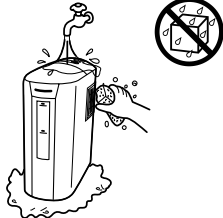
安全のため必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

この記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

この記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容が描かれています。

⚠警告

改造は絶対にしない
サービスマン以外の人は、分解したり修理しない
（火災・感電・けがの原因）
修理はお買い上げの販売店または日立家電品のお客様ご相談窓口にご相談ください。

水につけたり、水をかけたり、本体内に直接給水したりしない

（本体内部に水が侵入し、感電･ショート･発火の原因）

吸込口や吹出口などのすき間やマイナスイオン発生器にピンや針金などの金属物等、異物を入れない
（感電や異常動作してけがの原因）

定格15A以上のコンセントを単独で使う

（他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火の原因）

お手入れの際は必ず差込プラグをコンセントから抜き、マグネットプラグも抜く
また、濡れた手で抜き差ししない
（感電やけがの原因）

電源コードを傷つけたり、破損したり、引っ張ったり、束ねたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、重いものをのせたり、はさみ込んだりしない
（電源コードが破損し、火災･感電の原因）

電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
（感電・ショート・発火の原因）

交流100V以外では使用しない

（火災･感電の原因）

差込プラグやマグネットプラグ、プラグ受けのほこりなどは定期的にとる
（感電・ショート・発火の原因）

幼児にマグネットプラグをなめさせない

（感電やけがの原因）

本体内部のお手入れに塩素系、酸性タイプ、クエン酸などの洗浄剤は使用しない

（洗浄剤が残り、有毒ガスが発生して健康を害する恐れ）

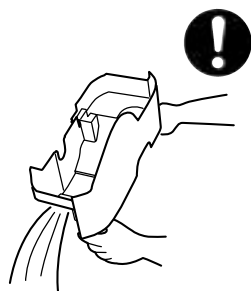
本体を持ち運ぶときは、水槽のみをセットした状態では移動しない

（本体や水槽が落下し、けがの原因）

安全のため必ずお守りください ーつづきー

⚠警告

水槽内の水を排水するときは、本体から直接排水せず、水タンクを取り出してから水槽をはずし、気化フィルターをはずして水槽を傾け排水する

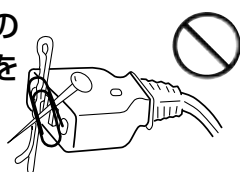
（本体内部に水が回り込んで、感電、ショート、発火の原因）

本体を倒したり、本体に寄りかかったり、上に乗ったりしない
幼児の近くや、不安定な場所で使用しない

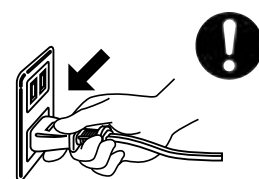
（ショート、感電、発火の原因）
倒したときは、差込プラグを抜いてください。

水槽や水タンク、フタなどをはずしたまま運転しない

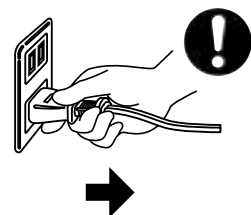
（感電やけがの原因）

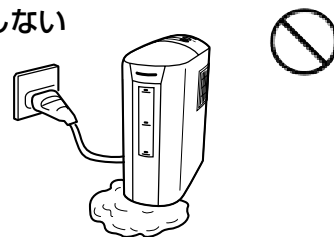
マグネットプラグ（磁石式）の先端にピン等、金属片やごみを付着させない

（感電・ショート・発火の原因）

差込プラグ、マグネットプラグは根元まで確実に差し込む

（感電、発熱して発火の原因）

⚠注意

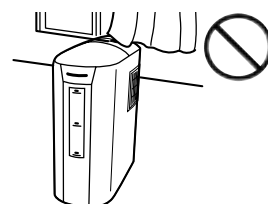
差込プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込プラグを持って引き抜く

（感電やショートして発火の原因）

水漏れしたときは使用しない

（感電の原因）
水漏れしているときは、差込プラグを抜き、必ず修理を依頼してください。

水が入っているときに本体を傾けない

（感電の原因）
本体から水がこぼれることがあります。

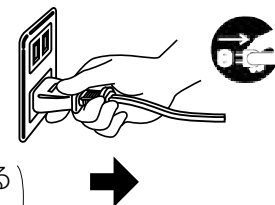
吹出口や空気吸込口をふさがない

（変形や故障の原因）

使用中や運転停止直後は、お手入れなど本体内部に触れない

（ヒーター周囲の高温部やファンに触れたりしてやけどやけがの原因）

「給水」ランプ点灯中もファンが回転することがあります。

使用しないときは差込プラグをコンセントから抜く

（けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因）

凍結させない

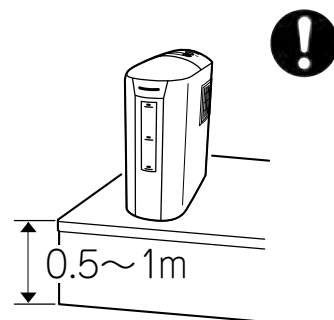
（感電や故障の原因）凍結のおそれのあるときは、水タンクと水槽部内の水を捨ててください。

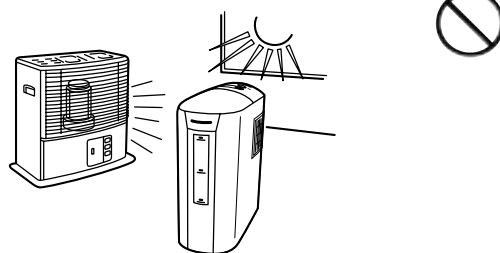
水タンクの水は毎日新しい水道水と入れ換え、気化フィルターと本体内部は常に清潔を保つよう、「お手入れのしかた」にしたがい定期的（週1回以上）に掃除する

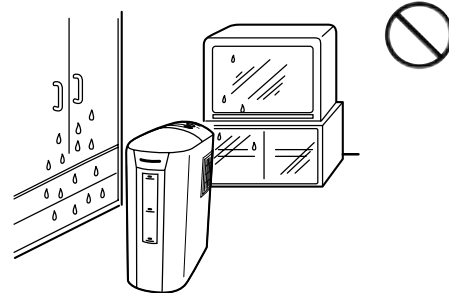
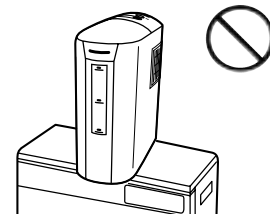
掃除せずに使用を続けると、汚れや水あかにより、カビや雑菌が繁殖し、悪臭がする場合があります。
まれに体質によっては過敏に反応し、健康に良くないことがあります。この場合は医師に相談してください。

置き場所についてのお願い

正しい置き場所

●床面から約0.5～1mの棚やテーブルの上などの水平で振動のないところに置いてお使いください
また、吹出口から天井までの距離を1m以上、周囲の壁などまでの距離を10cm以上とってください
満水時には重くなりますので､しっかりしたテーブルの上に置いてください

次の場所には置かない

●暖房器具などの近くで、高温になるところ
輻射熱や温風を直接受けるところ
直射日光のあたるところ
油のつきやすいところ
（プラスチック部品が変形、変質の原因
センサーが正しく働かなくなる恐れ）

●加湿器の吹出した風が直接家具、楽器類、テレビなどの電気器具、壁、天井などにあたったり、周りに障害物があるところ

（家具などにしみや変形ができたり、故障の原因）

●暖房器や電化製品及び不安定な台の上
（暖房器の熱で変形したり、故障の原因／センサーが正しく働かなくなる恐れ
転倒し感電・ショート・ケガの原因）

●テレビ・ラジオ・コードレス電話などの近く
（テレビ・ラジオ・コードレス電話などに雑音が入る原因）50cm以上離す。

●磁石や強い磁気のものの近く、磁石のつく鉄板の上
鉄板の上に置くときには磁石の影響を受けない木やプラスチックなどの板（厚さ3cm以上）をしいた上に本体を置いてください。
（誤動作する原因）

各部のなまえ

操作部

水タンク
内部にあります

水位窓

フ　タ

本　体

吹出口
加湿中でも蒸気や霧はみえません

ファン
内部にあります

フィルターカバー

空気吸込口
• 竹炭フィルター（スポンジ）

フット
左右にあり、収納できます

空気吸込口
• エアフィルター（網）

タンクハンドル

水タンク

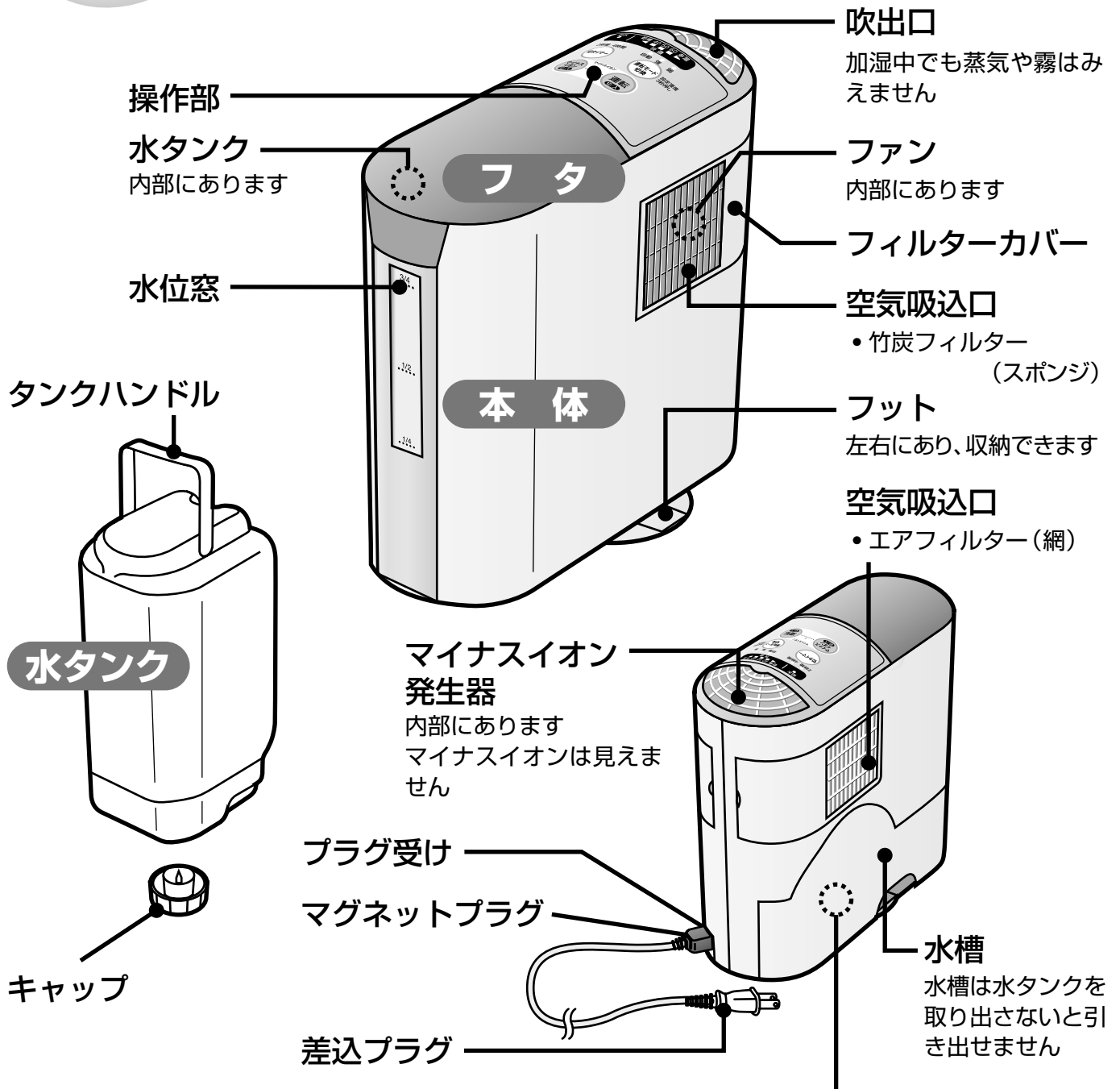
キャップ

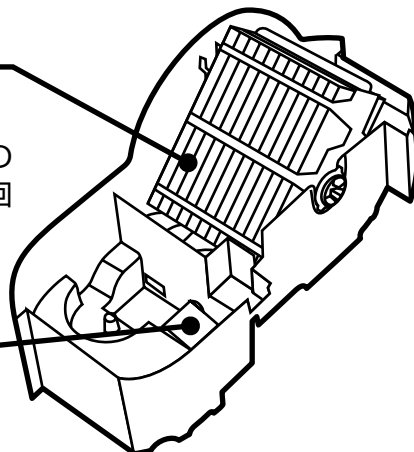
マイナスイオン発生器
内部にあります
マイナスイオンは見えません

プラグ受け

マグネットプラグ

差込プラグ

水槽
水槽は水タンクを取り出さないと引き出せません

気化フィルター
（消耗部品）
回転しますので左右の軸を水槽の溝に確実に挿入し、軽く押して回転することを確認してください。

フロート（水検知センサー）
テープ等で固定したり、取り外したりしないでください。

気化フィルターは水槽内で自動的に回転します

- 運転を開始すると、気化フィルターが回転して垂直位置で止まり、加湿をします。
- 運転中は気化フィルターが約5分に1回180゜反転し、まんべんなく水に浸して、加湿性能を高めます。
- 運転停止時には気化フィルターが回転し、水平位置で止まります。

操作部

湿度表示ランプ

現在湿度の目安および「自動」運転の設定湿度を表示します。

乾燥	40	50	60	多湿
約35%未満	約35～45%	約45～55%	約55～65%	約65%以上

給水　乾燥 40 50 60 多湿　快 適
2時間　4時間　自動　強　弱
切タイマー　運転モード 切換　設定湿度 3秒押し
マイナスイオン
マイナス イオン 切/入　運転 切/入

「給水」ランプ

加湿運転中、水タンクの水がなくなると点灯し、運転を停止します。

運転ランプ

「自動」ランプ
「 強 」ランプ
「 弱 」ランプ
それぞれの運転モードを表示します。

切タイマーランプ

切タイマーキーで設定した運転時間を表示します。

運転モード切換キー

「自動」「強」「弱」の運転モードを選びます。
「自動」運転時に3秒押すと、設定湿度を選べます。湿度表示ランプが点滅し、設定湿度を変更できます。

切タイマーキー

運転をタイマーで自動的に止めたいときに使います。

マイナスイオン 切／入キー

「マイナスイオン」運転を「入」「切」します。
加湿運転中に押すと「加湿＋マイナスイオン」運転と「加湿」のみ運転の切り換え、停止中に押すと「マイナスイオン」単独運転の「入」「切」ができます。

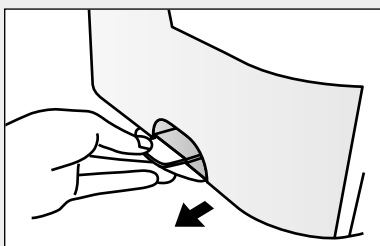
「マイナスイオン」ランプ

「マイナスイオン」運転のときに点灯します。

運転切／入キー

運転を「入」「切」します。
初めて使用するときや、差込プラグまたはマグネットプラグを抜き差ししたあとに押すと「自動」ランプが点灯し、「自動」運転を始めます。
それ以外の場合は、前回の運転モードの表示ランプが点灯し運転を始めます。

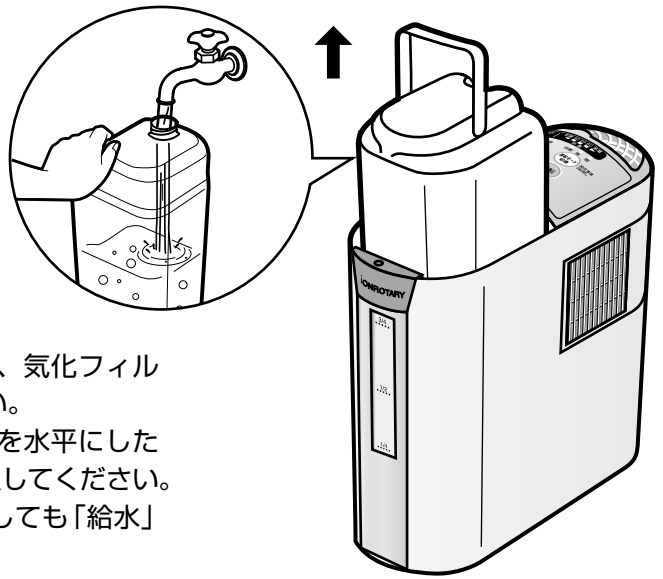
フットの出しかた

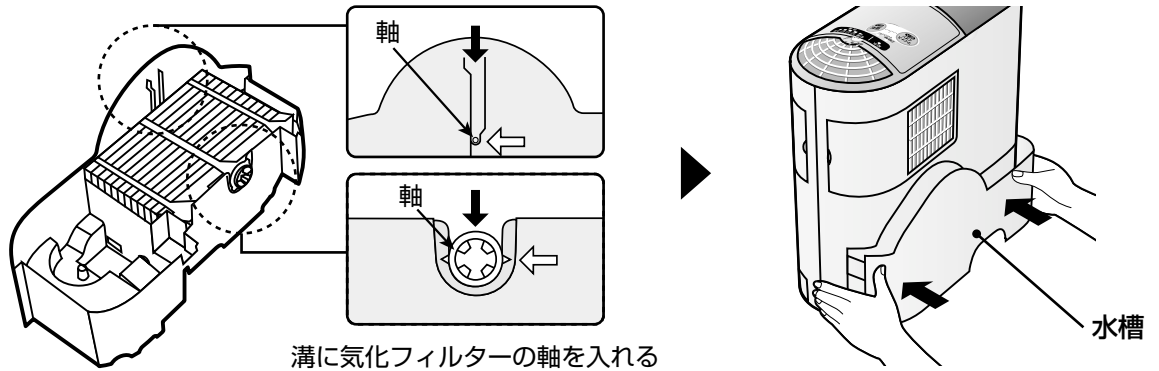
フットを引き出して本体をさらに安定させて使うことができます。左右についています。

移動のとき

移動のときは、必ず差込プラグを抜いてから両手で本体をしっかりささえて持ち運びます。
（水槽だけをセットした状態で持ち運ばないでください。）

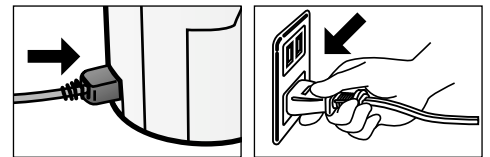
ご使用前の準備

1 給水する

①フタを外して水タンクを取り出し、キャップを外してきれいな常温の水道水を入れてください。
②キャップを確実に締め、こぼれた水をふきとり、水漏れがないことを確認してください。

2 水槽・水タンクのセット

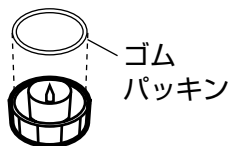
①水槽は気化フィルターの軸が水槽の溝に挿入され、気化フィルターを軽く押して回転することを確認してください。
②水槽を本体にセットするときは、気化フィルターを水平にした状態で水槽の両端を両手で押さえ本体の奥まで挿入してください。確実にセットされていないと運転切／入キーを押しても「給水」ランプが点灯して運転を開始しません。
③水タンクを本体内に静かに入れ、水タンクのハンドルを後ろに倒し、フタをセットしてください。

溝に気化フィルターの軸を入れる

3 マグネットプラグを本体のプラグ受けに取り付け、差込プラグを交流100Vのコンセントに差し込む

運転中にマグネットプラグや差込プラグが外れると「ピッ」と音がして運転は停止します。

⚠注意

●水タンクは給水中に倒したり落としたりしない。手でしっかり押さえながら給水する
（落とすと、けが、タンクの変形、破損の原因）

●必ず水道水（飲用）を使う

●キャップのゴムパッキンが外れた場合は、図のように溝にはめこむ
（水漏れの原因）

●お湯（40℃以上）や化学薬品、芳香剤、汚れた水などを入れない
（プラスチック部品が変形、変質したり故障の原因）

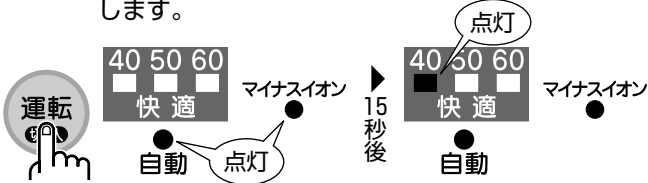
●浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などは入れない
（カビや雑菌の繁殖、異臭発生の原因）

使いかた

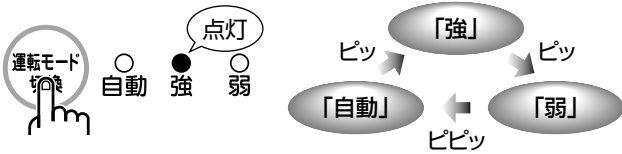
運転と停止

1 運転（切/入）キーを押す

「ピッ」と音がして「自動」ランプと「マイナスイオン」ランプが点灯し、加湿運転を開始します。

- スタート後約15秒たつと現在湿度の目安を表示します。

- 水がないときや水槽がセットされていないと「給水」ランプが点灯します。

2 お好みに応じて 運転モード切換 キーを押す

「ピッ」と音がして運転ランプが切り換わり、お好みの設定ができます。「自動」「強」「弱」の3つの運転モードから選びます。

- はじめてお使いになるときや、停電および差込プラグやマグネットプラグの抜き差しをした場合は「自動」と「マイナスイオン」が最初に設定されます。それ以外のときは前回に設定した運転モードが最初に設定されます。「マイナスイオン」は解除すると停止後、再運転時には設定されません。

3 停止するときは… 運転（切/入）キーをもう一度押す

すべてのランプが消灯し、加湿運転を停止します。

「自動」運転

あらかじめ設定した湿度を目安として、一定の湿度となるように、ヒーターとファンを自動的にコントロールして加湿量を調節しながら運転します。

設定湿度は、はじめてお使いになるときや、停電および差込プラグやマグネットプラグの抜き差しをした場合は50%に設定されています。

設定湿度を変えるとき

「自動」運転の設定湿度は40%50%60%のいずれかを選ぶことができます。設定湿度の変更は「自動」運転中に行います。

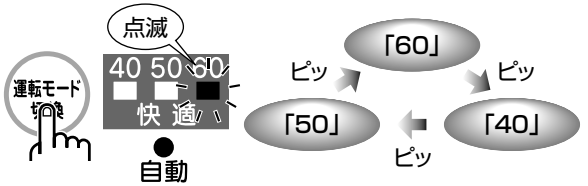
1 「自動」ランプが点灯していることを確認する

他の運転モードを選んでいるときは運転モード切換キーを押して「自動」を設定します。

2 「自動」ランプ点灯中に 運転モード切換 キーを3秒以上押し続ける

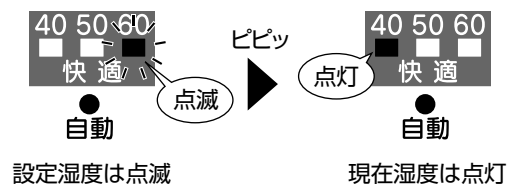
「ピピッ」と音がして、湿度表示ランプが点滅し、設定湿度を表示します。

3 湿度表示ランプが点滅中に 運転モード切換 キーを押す

「ピッ」と音がして設定湿度が変わります。お好みの湿度に合わせます。

4 「ピピッ」と音がするまで待つ

湿度を設定してから約3秒以上そのままにしておくと再度「ピピッ」と音がして湿度が確定します。設定湿度の表示（点滅）が消えて現在湿度の表示（点灯）に戻ります。

設定湿度は点滅　　現在湿度は点灯

使いかた －つづき－

「強」「弱」運転

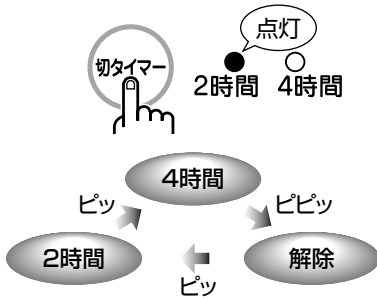
「強」…ファンを強回転し、ヒーターをONにして、湿度に関係なく、強加湿量で連続運転します。
「弱」…ファンを弱回転し、ヒーターをOFFにして、湿度に関係なく、弱加湿量で連続運転します。静かに加湿したいときなどに使います。

- 「強」運転「弱」運転は湿度のコントロールをしないで運転します。湿度の上がりすぎに注意して下さい。

切タイマー

設定した時間後に自動的に運転を停止します。

運転中に 切タイマー を押して希望の時間に設定する

切タイマーキーを押すごとに「ピッ」と音がして表示が切り換わります。

- 設定した時間後に運転を停止し、ランプもすべて消灯します。
- 切タイマーランプは、運転が停止して消灯するまで、時間の経過に関係なく、設定した時間が点灯を続けます。
- 水タンクの水量を確認してください。水量が少ないとタイマーが切れる前に水がなくなり、「給水」ランプが点灯します。
- 運転停止後差込プラグやマグネットプラグを抜かなければ、再設定時には前回の時間が最初に設定されます。

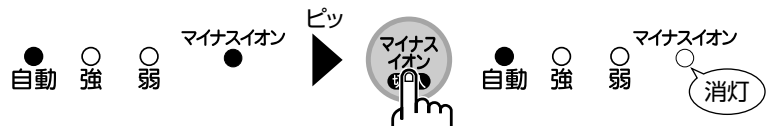
「マイナスイオン」運転

加湿しながらマイナスイオンを発生する「加湿＋マイナスイオン」運転と、加湿せずに送風し、マイナスイオンを発生する「マイナスイオン」単独運転ができます。

◎【加湿＋マイナスイオン運転】

- 初めてお使いになるときや、停電および差込プラグやマグネットプラグの抜き差しをした場合は、運転切／入キーを押すと最初は「マイナスイオン」ランプが点灯して「加湿＋マイナスイオン」運転が設定されます。

1 「マイナスイオン」を解除するときは… 運転中に マイナスイオン 切/入 キーを押す

「ピッ」と音がして「マイナスイオン」ランプが消灯し、加湿のみの運転になります。このとき加湿運転の運転モード（「自動」「強」「弱」）や切タイマーはそのまま継続します。

- 加湿のみの運転中にマイナスイオン切／入キーをもう一度押すと、「加湿＋マイナスイオン」運転に戻ります。
- 「マイナスイオン」は解除すると停止後、再運転時には設定されません。

◎【マイナスイオン単独運転】

1 運転停止中に マイナスイオン 切/入 キーを押す

「ピッ」と音がして「マイナスイオン」ランプのみが点灯し、加湿はせずに「マイナスイオン」単独運転を行います。

- 現在湿度表示はしません。
- 水がない状態でも「マイナスイオン」運転を行います。水タンクに水を入れる必要はありません。また、「給水」ランプは点灯しません。
- 気化フィルターと水槽はセットしてください。確実にセットされていないと「自動」ランプが点滅し、運転しません。このときは運転切／入キーを押して「自動」ランプを消し水槽をセットしなおしてください。
- 強弱等の切換はできません。
- 切タイマーは加湿運転と同様に設定できます。
- 運転切／入キーを押すと「加湿＋マイナスイオン」運転に切り換わります。

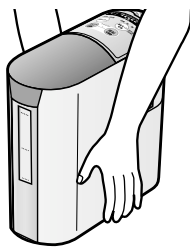
2 停止するときは… マイナスイオン 切/入 キーをもう一度押す

「マイナスイオン」ランプが消灯し、運転を停止します。

移動のとき

⚠警告

●**水タンクをセットせずに水槽だけをセットした状態で持ち運ばない**
（本体や水槽が落下し、けがの原因）

●**差込プラグを抜き、本体を両手でしっかり持って運ぶ**
（本体が落下し、けがの原因）

⚠注意

●**水が入っているときは水タンクと水槽を取り外し、それぞれ別に持ち運ぶ**
（水漏れの原因）

水がなくなったときは

水タンクの水位が水位窓下端に近づいたら、水タンクに水を補給してください。

- 水タンクの水がなくなると、「給水」ランプが点灯して自動的に加湿が止まります。
- 「給水」ランプ点灯中に、給水した水タンクをセットすれば自動的に加湿を再開します。
- 「給水」ランプ点灯後、約30分ファンが回転します。
その後「給水」ランプが消灯し、ファンが止まって運転を停止（運転切／入キーで停止した状態）します。
給水後、再度運転するときは、運転切／入キーを押してください。

知っておいていただきたいこと

- この商品は気化式による加湿方式のため、部屋の湿度が高いほど、また温度が低いほど加湿量が少なくなります。また、加湿中でも蒸気や霧は見えませんが、水タンクの水位が減っていれば、加湿しています。
- 湿度センサーはファンで部屋の空気を吸い込むことにより、湿度を検知します。このためファンの停止中は湿度の検知は行なわれず、現在湿度の表示は変わりません。
- 湿度センサーは暖房気流があたったり、直射日光で暖められたりすると、室内の湿度と異なるコントロールをします。なお、同じ部屋でも場所や高さにより湿度が異なり、他の湿度計と差が出ることもあります。
現在湿度の表示は目安としてお使いください。
- 設定された湿度を保つため、現在湿度の表示が設定された湿度になっても加湿を続けているときがあります。
- 暖房中の快適な湿度は50%前後といわれていますが、結露や異常乾燥による悪影響を防止するために次のような点を目安にして、加湿器を運転してください。
○湿度が高すぎるとき
①比較的寒い北側の押入れなどに露がついたり、湿っぽい感じがする。
②窓や壁に露がたくさんつき、流れ出している。
気密性の良い部屋などでは50%前後の湿度でも温度の低い窓などに結露する場合があります。
○湿度が低いとき
①くちびるやのどが乾き、ひふがかさかさする。
②家具などのすき間が大きくなり、建具がそる。
- 本体を持ち運ぶときに「カラカラ」と転倒スイッチのボールがころがる音がすることがありますが異常ではありません。
- 加湿の効率を上げるため運転中は約5分に１回気化フィルターを回転し上下を反転させています。このときに「カチッ」というスイッチの動作音や気化フィルターがこすれる音がすることがありますが、異常ではありません。
- 「マイナスイオン」運転時にマイナスイオンが発生するときの「ジー」という音がすることがありますが異常ではありません。
- この商品は一般家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。

お願い

●**湿度の高い（70%以上）ところでは「強」で運転しないでください**
湿度が高いときには、家具や床を湿らしたりぬらすことがあります。

●**お子様やお年寄りには注意してください**
お子様やお年寄り、ご病人のおられるご家庭では、加湿のしすぎや、本体の取り扱いなどについて注意してあげてください。

●**暖房を止めたときは「強」で運転しないでください**
暖房を止めた部屋や暖房しはじめの寒い部屋で使用すると、部屋の壁や床などは冷たいため、水滴となってつくことがあります。おやすみのときなどは、特に注意してください。

お手入れのしかた

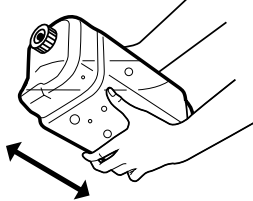
本体の空気吸込口周辺、水槽回りは汚れやすいため、いつもきれいに掃除しておいてください。

⚠注意

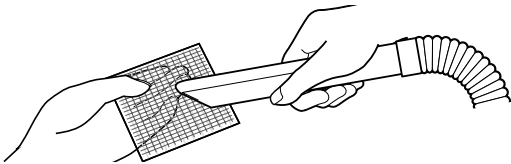
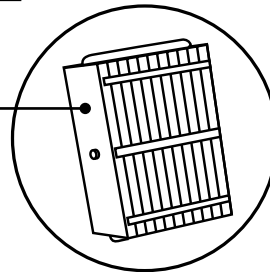
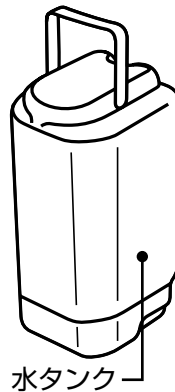
●**ベンジン・シンナーなどではふかない**（変色や変形の原因）

●**水槽を取り出した後、本体内部の金属部に触れない**（けが・故障の原因）
●**必ず運転を止め、差込プラグをコンセントから抜いて、本体内部が冷えるのを待ってから（約10分位）お手入れを行う**（やけど・けがの原因）
●**化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがって使用する**（変色・キズの原因）
●**清掃後は、必ず各部品を元通りにセットする**（やけど・けが・故障の原因）

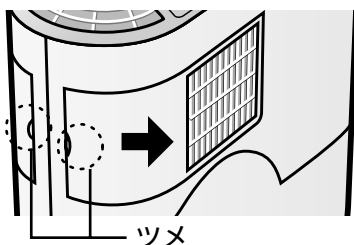
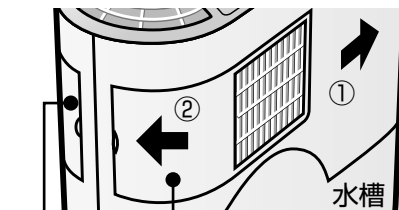
◆水タンク内の清掃（週に1～2回以上）

水タンク内に水を約2Lほど入れ、キャップを締めて水タンクをよく振り、排水してください。（これを2～3回繰り返します。）

◆エアフィルターの清掃（週に1～2回以上）

本体側面にあるフィルターカバーを外し、掃除機などで、エアフィルターのほこりを取り除いてください。

- 汚れがひどくなりますと風の出かたが弱くなったり、正しい湿度検知をしなくなりますので、早めに清掃してください。
- 清掃後は必ず本体に取り付けてください。

エアフィルター、竹炭フィルターのはずしかた・取り付けかた

◎はずしかた

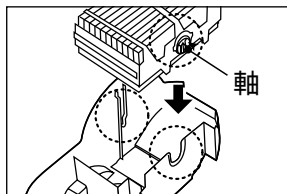
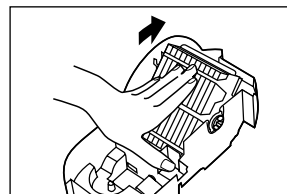
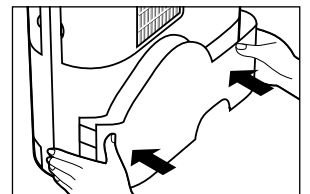
- フィルターカバーのツメに指をかけ矢印の方向に引き、取り出す。

◎取り付けかた

- フィルターカバーにエアフィルター、竹炭フィルターを取り付け、①の矢印の方向にツメを差込み②の矢印の方向にはめ込む。（水槽を引き出す側：エアフィルター／水槽を引き出せない側：竹炭フィルター）

気化フィルターと本体内部の清掃（週に1回以上）

①洗剤水に30分以上つける　②新しい水ですすぐ　③軽くふって水をきる

(1) フタと水タンクを本体からはずす
(2) 水槽を本体から引き出し、気化フィルターを上方に持ち上げ取り外す
(3) 水槽内の水を捨て、歯ブラシ等でフロート周辺や底部の水あか、汚れを落とし、水洗いする。
(4) 気化フィルターを洗浄する
　①洗剤を入れた水またはぬるま湯に気化フィルター全体をつけて約30分放置する。
　　こすったりもみ洗いをすると気化フィルターを傷めます。

洗剤はつけおきタイプの弱アルカリ性「花王　ワイドマジックリン」を使用し、水1Lあたり9gの割合で入れる。

　②新しい水に入れ換え、気化フィルターをゆすりながらすすぎ洗いを2〜3回繰り返す。
　③洗ったあとに気化フィルターを軽く振って水をきる。
(5) 気化フィルターを水槽に取り付ける
　気化フィルターを水平にして、軸を水槽の溝に確実に挿入します。気化フィルターを軽く押して回転することを確認してください。
(6) 水槽を本体に取り付ける
　気化フィルターを水平にして、水槽を本体の奥まで挿入してください。取り付けが確実でないと、「給水」ランプが点灯したり、気化フィルターが回転しなかったりして、運転しません。（水槽が奥まで入りづらいときは気化フィルターを手で少し回して角度を変えて挿入しなおしてください）
(7) 水タンクとフタを取り付ける

軸を水槽の溝に合わせて挿入する

気化フィルターを水平にする
入りずらい時は少し回転させる

水槽を両手で奥まで押し込む

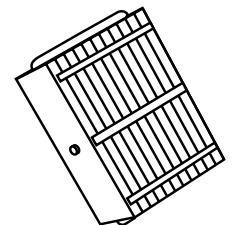
お願い

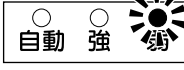
- **気化フィルターは分解しない**（バラバラになり、再使用できません。）
- **指定以外の洗剤は使わない**（気化フィルターが傷んだり、汚れが落ちにくいことがあります。）
- **気化フィルターや水槽は確実にセットする**（取り付けが確実でないと運転しません。）

気化フィルターの交換（1シーズンに１回）

- 気化フィルターは消耗品です1シーズン（約6ヶ月）を目安に交換してください。

交換用気化フィルター（型式SV-H7）標準価格2,000円（税別）

- お手入れしても次のような場合は1シーズン（約6ヶ月）以内でも交換してください。
  におい、変色、（黒、茶色）、汚れがひどい。水あかが厚く固まり、とれない。
- 古いフィルターは燃えないゴミとして廃棄してください。

気化フィルター

保管

「お手入れのしかた」にしたがいお手入れ・清掃をしたあと、本体内部の水分をよくふき取り、陰干しして十分に乾燥させてから、取扱説明書とともにお買い上げ時の箱などに納めて、湿気の少ないところに保管してください。特に気化フィルターは、かびの発生を防ぐため十分に陰干ししてください。

故障かな？と思ったら

次のような症状のとき、異常でないことがあります。下表を参考にしてもう一度確認してください。

症　　状	点検するところ	処置のしかた
蒸気や霧が出ない、見えない	―――	正常です。気化フィルターに風を当てて、湿った風で加湿しますので、蒸気や霧は見えません
マイナスイオンが出ない、見えない	「マイナスイオン」ランプは点灯していますか	「マイナスイオン」ランプが点灯しているときは、マイナスイオンが発生しています。マイナスイオンは目に見えません
運転しない	差込プラグやマグネットプラグが外れていませんか	マグネットプラグをプラグ受けに取り付け、差込プラグをコンセントに差し込む
	「強」ランプが点滅していませんか	転倒スイッチが働いて、運転を停止しています。本体を起こして運転切／入キーを押してランプを消灯し、再度押して運転を開始してください
	「自動」ランプが点滅していませんか	「マイナスイオン」単独運転のときに気化フィルターや水槽がセットされていないと運転しません。運転切／入キーを押してランプを消灯し、気化フィルターや水槽を確実にセットしてください。
加湿しない、送風しない	「多湿」ランプが点灯していませんか	「自動」運転のときは湿度が高いと送風を停止することがあります。さらに加湿が必要なときは「強」運転に切り換えてください
	「給水」ランプが点灯していませんか	給水をする。
	加湿なし「マイナスイオン」運転を設定していませんか	運転切／入キーを押して加湿運転にする
	気化フィルターが水槽にセットされていますか	気化フィルターをセットする
送風量が少ない	「弱」運転や「自動」運転を設定していませんか	「弱」運転や湿度の高いときの「自動」運転では送風量が少なくなります。「強」運転に切り換えると送風量が多くなります
	気化フィルターやエアフィルターや竹炭フィルターにほこりやゴミが多く付着していませんか	「お手入れのしかた」にしたがい掃除する
給水しても「給水」ランプが消灯しない	水槽が本体に確実にセットされていますか	水槽を本体に確実にセットする。加湿運転のときに水槽が本体に確実にセットされていないと、「給水」ランプが点灯します
	フロートに水あかや鉄片が付着していませんか	フロートやその周りを掃除する
においがでる	水が古くなっていたり、気化フィルターやエアフィルター、竹炭フィルター、水槽内部が汚れていませんか 水道水以外を使用していませんか	水槽や水タンクに残っている水を捨て、「お手入れのしかた」にしたがい掃除する

こんなランプ表示が出たら

(1)「強」ランプの点滅

…本体が極端に傾いているか、転倒している状態です

(2)「自動」ランプの点滅

…「マイナスイオン」単独運転のときに水槽や気化フィルターがセットされていない状態です

(3)「給水」ランプの点滅 …湿度センサーまたは制御回路の故障です

(4)「弱」ランプの点滅 …制御回路の故障です

(1) のときは、本体を起こして 運転切/入 キーを押してランプを消灯し、再度 運転切/入 キーを押してください

(2) のときは、運転切／入キーを押してランプを消灯し、水槽と気化フィルターを確実にセットし、再度 キーを押してください

(3) (4) のときは、差込プラグをコンセントから抜いて、お買い物の販売店または「日立家電品のお客様ご相談窓口一覧表の窓口に表示内容を連絡しご相談ください。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

■保証書（この商品は保証書付きです）

保証書は、必ず「お買い上げ日･販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと大切に保管してください。

- ●保証期間はお買い上げの日から1年です。
- ●ただし気化フィルターは消耗品ですから、保証期間内でも有料とさせていただきます。

■修理を依頼されるときは 持込修理

「故障かな?と思ったら」の項目を調べていただき、なお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

- ●保証期間中は
  修理に際しましては、保証書をご提示ください。
  保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。
- ●保証期間が過ぎているときは
  修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

■補修用性能部品の保有期間

当社はこの加湿器の補修用性能部品を、製造打切後5年間保有しています。

- ●補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理料金の仕組み

修理料金＝技術料+部品代です。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または「日立家電品のお客様ご相談窓口一覧表」（15ページ）の窓口にお問い合わせください。

■ご転居されるときは

ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

日立家電品のお客様ご相談窓口一覧表

（家庭電気製品の表示に関する公正競争規約による表示）

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
TEL 0120−3121−68
FAX 0120−3121−87

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
TEL 0120−3121−11
FAX 0120−3121−34

一般ご相談窓口

家電品についてのご意見やご要望は各地区の**お客様相談センター**へ

担当地域	電話番号	所 在 地
北海道地区	011−833−5088	札幌市白石区東札幌２条４−１−１０
東北地区	022−232−5088	仙台市宮城野区扇町１−１−４５
関東・甲信越地区	03−3834−8588	台東区東上野２−７−５（日立家電上野ビル）
中部地区	052−795−5088	名古屋市守山区川宮町５５（日立家電守山ビル）
関西地区	078−431−5088	神戸市東灘区甲南町１−３−８
中国地区	082−231−5088	広島市西区観音新町１−７−１７
四国地区	0877−47−1088	坂出市林田町４２８５−１４３
九州・沖縄地区	092−281−5088	福岡市博多区店屋町７−１８（博多渡辺ビル）

●ご相談窓口の名称、所在地等は変更になることがありますのでご了承ください。

−02A−

仕　様

型　　式		SVF-H54D
定　　格		交流 100V-154W（50-60Hz共用）
最大加湿量		約500/480mL/h（50/60Hz）（室温20℃、湿度30%、水温20℃）
適用床面積		木造和室・コンクリート洋室：室温20℃、湿度30%時／14m²（8.5畳）23m²（14畳） 室温20℃、湿度60%時／10m²（6畳）　16m²（10畳）
タンク容量		約4.0L
寸法	幅	14.5cm
	高さ	35.5cm
	奥行	36.5cm
質　量（重量）		約3.7kg（満水時 約7.7kg）
電源コード		約1.4m

愛情点検

長年ご使用の加湿器の点検を！

●加湿器の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後５年です。

ご使用の際このようなことはありませんか。

- ●水漏れがする。
- ●本体が異常に熱くなる。
- ●運転中異常な音がする。
- ●その他の異常・故障がある。

▶ **お願い**　故障や事故防止のため、スイッチを切りコンセントから差込プラグを抜き販売店にご連絡ください。点検・修理についての費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

株式会社 日立ホームテック　　日立ホーム＆ライフソリューション株式会社

〒105−8410　東京都港区西新橋2−15−12　電話 (03) 3502−2111

日立加湿器保証書　持込修理

型名	SVF-H54D	保証期間	本体：1年
※お買い上げ日	平成　年　月　日		
※お客様	ご住所 ご芳名	〒　　　　様	
※販売店	住所 店名	電話　（　　）	

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。
お買い上げの日から左記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただきお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。なお、商品をお買い上げの販売店（修理申出先）やメーカーへ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
(イ)使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
(ロ)お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
(ニ)車両、船舶にとう載して使用された場合に生じた故障または損傷。
(ホ)業務用に使用されて生じた故障または損傷。
(ヘ)本書のご提示がない場合。
(ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合。あるいは字句を書き換えられた場合。

2. この商品について出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼になれない場合には、日立家電品のお客様ご相談窓口一覧表をご覧のうえ、お近くの窓口にご相談ください。
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.

● この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または日立家電品のお客様ご相談窓口一覧表の窓口にお問い合わせください。
● 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

修理メモ

日立ホーム＆ライフソリューション株式会社
〒105-8410　東京都港区西新橋2-15-12　TEL(03)3502-2111